



平成23年3月  
= 発行 =  
秋田県生涯学習センター  
〒010-0955 秋田市山王中島町1-1  
TEL : 018-865-1171  
FAX : 018-824-1799  
E-mail : sgcen002@mail2.pref.akita.jp  
編集担当：社会教育アドバイザー

平成23年3月11日、東北地方太平洋沖地震が発生し、津波による大災害となりました。人々が暮らしていた町並みと尊い命が情け容赦なく奪い取られ、自然の脅威を思い知らされました。被災地の人々のことを思うと胸が張り裂けそうです。救助、救済に頑張っておられる方々に感謝しながら、一時も早い救助、発見を祈っております。

子どもたちの巣立ちの3月に、未曾有の大災害となりました。卒業を期に、世の中の危機に遭遇しても知恵と努力と協力で乗り越えていくことの重要性を大人から伝えてほしいと思います。

## 宇宙飛行士、山崎直子さんを育てた、 家庭の安心感と知的好奇心

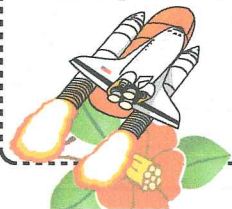


子どもは、生まれながらにして知的好奇心の芽はもっていると思います。ハイハイしながら見つけたものに触って、振って、放りだして、なめて、とことん探っています。見ること、聞くこと、触れるものすべてが、興味・関心の対象です。五感を働かせて体験して学んでいます。好奇心が、「なぜ?」「どうして?」「もっと知りたい」「調べてみよう」と深まって、知的好奇心は満開になります。

知的好奇心は、すべての学びの源だと言われております。学力面だけでなく人として大きく成長させる原動力になります。

ママさん宇宙飛行士 山崎 直子さんの言葉の中に、参考になることがたくさんありましたので紹介します。

- 宇宙へのつきない好奇心が、常に私の原動力だった。
- 道は長かった。でも好きだから思い続けられた。宇宙飛行士の候補者に合格してから、宇宙に飛行するまで11年もの長い歳月がかかった。道は、平坦ではなかった。
- 家庭が安心感に満ちていれば、子どもの好奇心は、外へ向かう。家庭が安心感に満ちていたから、私の好奇心は外に向かい、好きなことに挑戦しようと思えたのかも知れない。
- 子どもが話しかけてきたら、顔を向けて話を聞くようにしている。家事の途中でも、娘が話しかけてきたときは、「あとでね」と言わずに娘の方を見て話を聞くようにしている。
- 「そのままでもいいんだよ」というメッセージを送り続ければ、きっと子どもは動き出せるはず。
- 宇宙から無事地球に帰還して思ったことは、「幸せは身近なところにある」ということ。夫と娘と3人で食卓を囲んで他愛もない話で笑い合うことこそが、かけがえのない宝物だと気付かされた。



制作 ベネッセ 学校&家庭プロジェクト  
子どもの「なぜ?」「知りたい」を引き出す本より

こしあぶらごみたらの芽小酒盛  
春の雷まどろ一声吼えて隠れけり  
頬杖に微睡まどろみたるものどかゆる

武藤 四郎 作



## 「詩人と歌の世界」～歌ったり、話したり～に参加して

平成23年2月5日、秋田県生涯学習センターを会場にして、放送大学秋田学習センターと秋田県立図書館との連携セミナー「秋田を学ぶ講座シリーズⅡ」が開催されました。「秋田県民歌」「荒城の月」「浜辺の歌」「初恋」などの7曲を土崎宏人氏の歌、千葉多恵子氏の伴奏で聴き、一曲ごとに、講師の秋田大学名誉教授、佐々木久春氏から歌の背景や詩人にまつわる文学的な講話を聴きました。若くして世を去った作詞家や作曲家、老いてから活動を開始した作家のことなど、興味深いお話が続きました。参加者は、時を忘れて日本の歌、日本文学を楽しみました。



佐々木氏の「論語」の紹介

そして、講師ご持参の「論語」の本を見せていただきました。横書き・英訳付きで、漆塗りの立派な木箱に入っていました。貴重な資料を拝見し感動しました。

最後に、日本3大県民歌と称されている「秋田県民歌」を参加者全員で4番まで歌いました。参加者は、「詩人と歌の世界」に引き込まれながら、秋田のよさを学びました。

### 秋田わか杉っ子 学びの十か条

- 一 早ね早おき朝ごはんは家庭学習  
規則正しい生活がスタートライン
- 二 学校の話題ではずむ一家団らん  
笑いが脳を活性化
- 三 読書で拓く心と世界  
めくるページ、広がる想像力
- 四 話して書いて伝え合う国語  
国語力は学びの基本
- 五 難問・難題にも挑戦する算数・数学  
あきらめずやりきること能力アップ
- 六 新発見の連続、広がる総合  
総合の時間は脳のビタミン
- 七 きまり、ルールは守ってあたりまえ  
落ち着いた教室で高まる集中力
- 八 いつも気をつけている言葉づかい  
相手意識でみがく活用力
- 九 説明は筋道立てて伝わるように  
整理する工夫が脳のトレーニング
- 十 学んだことは生活で学校ですぐ活用  
活用できて本当の生きる力

全国学力・学習調査の結果、秋田県の子どもの力は、四年連続良好な状況でした。児童の頑張りはもちろん、家庭・地域・学校・大学等の連携がよめく、子どもたちの教育環境の充実がなされていると「か条」を、今後も頑張っていきたいものです。

## 不登校の児童生徒のための「スペース・イオ」



平成23年3月11日の午前中に秋田明德館高校内にある「スペース・イオ」を見学しました。秋田明德館高校は、秋田駅に近い交通の便のよいところに開設された定時制課程と通信制課程のある単位制高校という特色のある高校です。その中に、「スペース・イオ」があります。

「スペース・イオ」は、平成17年4月に設置され、小中学校の不登校、及び中卒者に対する学習支援をしており、平成22年度は70名の児童生徒が学習しています。スペース・イオでの学習形態には、3タイプがあり、タイプ1「スペース・イオに通って行く」、タイプ2「スペース・イオと自宅での学習（IT等）を組み合わせる」、タイプ3「主に、自宅で学習（IT等）を進める」の3つです。卒業式シーズンであったため、通常よりは人数は少なかったのですが、どの子もいい表情をして、真剣に学習していました。基本的には、児童生徒自身の学習計画に基づいて学習が展開されているとのことでしたが、高校の施設・設備を利用した学習もできるという、恵まれた教育環境になっていました。児童生徒の可能性に応えた学習の場になっており、「スペース・イオ」の存在の「ありがたさ」を感じました。